区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学実習	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・ (後期) ・ 通年	講義形態	講義 ・ (実習)
担当教員名	小丸　検造	実務経験	(有)・無	実務経験内容	神経伝導速度・聴性脳幹反応検査、眼底検査及び腹部エコー検査の実習

授業の目的・目標
実習授業より被験者を体験することで患者の立場を理解する。また、検査者として素早く正確に検査することの重要性を経験する。

成績評価の方法
定期試験

授業の概要・授業方針
末梢神経伝導検査と眼底検査における検査者と被験者を体験する。また、腹部エコー検査を実施する。それぞれの検査機器を用いて実習中心の授業を行う。

テキスト・参考資料等
臨床生理学教本。エコー機や筋電計と眼底カメラの機器操作説明書。

授業計画	講師
第1回　末梢運動・感覚神経伝導検査の実技（被験者体験）	小丸検造
第2回　末梢運動神経伝導検査の実技（験者の体験）前半	小丸検造
第3回　末梢運動神経伝導検査の実技（験者の体験）後半	小丸検造
第4回　F波伝導検査の実技	小丸検造
第5回　聴性脳幹反応検査の実技	小丸検造
第6回　腹部エコーの体験	小丸検造
第7回　眼底検査の撮影実技　前半	小丸検造
第8回　眼底疾患の撮影実技　後半	小丸検造

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学実習	単位数	1
対象学年	2学年	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	城　宏史	実務経験	(有)・無	実務経験内容	呼吸機能検査を25年の実務

授業の目的・目標	成績評価の方法
呼吸は、循環とともに生命の維持に不可欠な機能です。基礎的知識と同様に酸塩基に関する知識も含め、種々の呼吸疾患について見識を深めてほしい。	①毎回授業前に小テスト ②定期試験　③授業態度
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
教科書に沿って基礎的理解と医療現場での実際と医療機器等を示しながら、実習も含め授業に生かしてゆく。 過去の国試問題も踏まえた講義内容にする。	臨床生理検査学教本　肺機能テキスト 血液ガステキスト　呼吸機能検査技術教本（JAMT技術教本）

授業計画	講師
第1回：肺機能検査の記号・単位・気体の表示と肺気量分画について	城　宏史
第2回：スパイロメトリーとフローボリューム曲線について及び測定手技	城　宏史
スパイロメトリーの指標と評価	
第3回：VC・FVC・MVV・CV・FRC・Dlco測定手技と実習	城・実習時補助者
第4回：血液ガス分析の実際と判定基準及び解釈について	城　宏史
基礎代謝の概念と実際	